平和問題の啓発を

答 啓発は広報で取り組みたい

入江 政行 議員

問 宇美町議会で１９８５年に非核都市宣言を決議している。
　恒久平和のため、宇美町では戦没者合同慰霊祭が開催されている。平和週間の設定などの啓発活動をしているか。

答 総務課長　恒久平和を願う機運を高めるため、条例制定等を宇美町としての取組として考える。

問 広島、長崎の平和行進に宇美町から代表を参加させているか。

答 課長　当町としては特に参加は行ってはいない。

問 恒久平和のためのパンフレットを作成し、自己啓発による平和問題に取り組んでは。

答 課長　広報うみで特集を組み、しっかりと取り組んでいく。

問 学識者による町民集会を開催し、平和に対しての取組をしてはどうか。

答 課長　現在はしてないが、必要があれば検討する。

問 北朝鮮の核について対話による解決があるが、平和憲法を持つ国として北東アジアの安定を実現するために、外交努力に力を注ぐことが重要ではないか。

答 町長　武力としてではなく、対話による平和解決の道が大切である。

問 我が国は核兵器禁止条約に署名をしてない。恒久平和構築のために、憲法９条のもとで、外交努力をすべきである。憲法９条と99条をどう捉えているか。

答 町長　国政レベルでは議論されており、町長としてのコメントは差し控えたいが、国民一人ひとりが国レベルの議論に参画できる体制づくりを進めていくことが、今後、国には求められるものと思っている。

防災について

問 避難所における長期避難生活に当たり、トイレの問題、毛布などの寝具、飲料水、非常食等の備蓄保管状況は。

答 総務課長　うみハピネスの一室に毛布７３０枚、タオル、給水袋、懐中電灯を備蓄。非常食等は４２０食、飲料水は３２８リットル。
　備蓄に関しては、ローリングストック方式を取り入れ、現在の５倍を目標としている。

問 当町は山に囲まれた町であり、炭鉱跡地にも住宅がある。
　豪雨による深層崩壊が起きたときの対策は。

答 課長　一番大切な防災は、早期対応のためにも、早期避難を的確に促すことである。

篠栗町から粕屋町への平和行進

首都圏に「宇美町人会」の立ち上げを

答 町として積極的に取り組む

南里 正秀 議員

問 本町と同じ2020年に町制100周年を迎える宮崎県都農町では、河野町長をはじめ、職員、商工会等、官民挙げて当町との交流に前向きに取り組まれている。

今後も交流、連携を図るため、町長が相互訪問してはどうか。

答 町長 都農町のまちづくりは大いに参考になると感じており、近々のうちに河野町長と面談し、今後の交流につなげる基礎基盤を構築したい。

都農町職員との親善サッカー大会

問 都農町はふるさと納税に力を入れており、平成29年度は受入額が70億円に達したと聞いている。

返礼品の一部を宇美町と共有できないかとの話もあったが、動きはあるのか。

答 まちづくり課長 現在、都農町商工会では、他の自治体とのコラボレーションを視野に入れた返礼品開発を検討中と聞いている。

当町でも魅力ある返礼品の充実に努めるため、検討したい。

問 都農町の施策のひとつに「町人会」の設立がある。

ふるさとを離れて暮らす町の出身者に、町の情報を提供する場として活用され、結果的にふるさと納税にも大きく寄与されていると聞く。

本町でも100周年を契機として首都圏に「宇美町人会」を立ち上げてはどうか。

答 町長 ふるさと宇美を離れている方々に対し、宇美町の良さや魅力を再認識してもらい、宇美町を応援していただける方々のネットワークの形成は重要な視点と考える。

最初は小規模であっても、継続できる会の発足やその後の連絡調整、会への参加など、町として積極的に取り組む。

消防団員に運転免許取得を

問 平成28年3月道路交通法が改正され、3・5トン以上の車両は「準中型免許」が必要となり、改正後に取得した普通免許では運転できなくなった。

消防車両を運転できない団員の現状は。

答 総務課長 現在157名の団員のうち運転できない団員は昨年度の16名から24名に増加。

問 総務省消防庁は、消防団員が「準中型免許」を取得するため、本年度から教習所の費用を助成している自治体に財政支援を始めた。

課題解決に向け、早急に対策をとるべきではないか。

答 副町長 今後の消防団活動にとって早急な対策が必要。

今後、消防団と連携を図りながら、国の情報を収集し、できるだけ早い時期に対策を練り、報告したい。